



Ma~ri~s Corner マ~リ~の物がたり

マリコ・クック
Mariko Cook
2012年8月から国際交流員として、
浦添市役所国際交流課に配属される。
米国インディアナ州出身
原文・和訳:マリコ・クック

セント・パトリックス・デー

アイルランドの最も知られている行事と言えば、3月17日のセント・パトリックス・デーです。この日は、アイルランドにキリスト教を広めたセント・パトリックの命日で、アイルランドでは祝日になっています。アイルランド人にとってはクリスマスよりも盛り上がるという最大のイベントです。アイルランドでは何世紀も前からこの日を祝う伝統がありますが、20世紀にイギリスから独立してからは、フェスティバルやパレードで祝うようになりました。アイルランド系が多いアメリカやイギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドはもちろん、世界の各地でセント・パトリックス・デーの行事が行われています。

アイルランドのシンボルカラーが緑なので、3月17日になると、緑の服やアクセサリを身に付けたり、中には髪を緑色に染める人もいます。アイルランドと言えばビールが有名ですが、アイリッシュパブに行けばビールを注文すると、緑に染まったビールが出ます!セント・パトリックス・デーに緑色を身にまといないと、つねられるとされています。なので、アイルランド系でもカトリック教でなくても、緑色のものを身に付けていたほうがいいですね。

アイルランドの首都のダブリンでは、毎年セント・パトリックス・デーに向けて5日間にわたり、「セント・パトリックス・フェスティバル」が行われるそうです。日本にもいくつかのアイリッシュパレードやフェスティバルがあるみたいですが、調べてみたら沖縄のコザでもあるそうです。皆さんもぜひ行ってみてください!

St. Patrick's Day

The most well-known event that takes place in Ireland is on March 17th, St. Patrick's Day. The now-holiday commemorates the death of Saint Patrick, who propagated Christianity in Ireland. It's so major, that the Irish anticipate St. Patrick's Day more than they do Christmas. Ireland has had the tradition of celebrating the holiday for many centuries, but only after declaring independence from the United Kingdom in the 20th century did they begin to celebrate with festivals and parades. There are many Irish descendants living around the world, such as in the US, UK, Australia, and New Zealand, and each one of those countries has their own St. Patrick's Day events.

"Green" is Ireland's color, so when March 17th rolls around people wear green clothing, put on green accessories, and sometimes even dye their hair green. Beer is very famous in Ireland, and if you go to an Irish pub to order some it's likely that they'll serve you green beer. It's said that if someone doesn't have anything green on, that they'll get pinched! So, the lesson here is that even if you aren't Irish or Catholic, it's probably safer to wear something green just in case.

Every year, in preparation for St. Patrick's Day, Ireland's capital of Dublin hosts a five-day long festival known as the "St. Patrick's Day Festival." It seems as though even Japan has a number of Irish parades and festivals! And upon doing some research, I've discovered that there will even be an Irish Festival held in Koza here in Okinawa. Please go if you have the chance!

ハイサイ

こちら市長室!



浦添市長
松本哲治

「祈りの場所へ」

先日、二月とは思えないポカポカ陽気に誘われ、公務の合間を縫って浦添グスクを一人訪ねた。少し汗ばんだ肌に丘を越える風が心地よく、浦添グスクようどれ館ではその歴史を改めてビデオで学ばせて頂いた。小さな頃から数えられない程通った浦添グスクは、子どもだった私にとっては正直、ワクワクするような場所ではなかった。大人になり、琉球の歴史や文化に関心を持ち始めると、浦添グスクならではの魅力が理解できるようになった。この場所が琉球王朝発祥の地として選ばれたのは、何も太平洋から東シナ海まで見渡せる見晴らしの良い高台だからという理由だけではなく、たまたまこの場所に訪れる時には、この地に宿る聖なる力を静かに感じてみて頂きたい。この浦添グスクが持つ神聖さこそが「三山統」を成し遂げる王には必要であったと思われる。

また、この浦添グスクはその要塞性が仇となり、沖縄戦時には待ち構える日本兵と南下するアメリカ兵が死闘を繰り広げる激戦地となった。そして、双方に多くの犠牲者を出した。激しい砲撃により、尚寧王が眠る浦添ようどれとその周辺も原型を留めることはできなかつたほどである。現在は復元済み。

今後、浦添グスクは世界遺産追加登録を目指すわけであるが、いにしえの時代よりこの地が持つ精神世界と多くの命が失われた事を思い、私はこの場所が祈りの地であって欲しいと考えている。多くの観光客で賑わう観光地も悪くはないが、この浦添グスクは、静かに訪れ、歴史と平和に想いを馳せ、先人と身近な故人との対話ができる、崇高なる場であって欲しいと願う。ようどれに眠る尚寧王とその妻、そして、伊波普猷先生のお墓に手を合わせて坂を降りると、遠く慶良間

諸島の向こうに大きな夕日が傾いていた。平成三年にはモノレールがやってくる。この浦添グスクを軸に整備が始まる。浦添前田駅周辺開発にもぜひ注目してほしい。



▲市街地から望む浦添城跡

【浦添グスク・ようどれ館】

浦添グスク・ようどれ館を中心に浦添の史跡・文化財の案内をします(有料)。

時間・コースも相談できますので、下記までお気軽に問い合わせください。

NPO法人うらそえ歴史ガイド友の会
(☎874-9345)

問い合わせ
876-11234
(内線2563) 秘書課

ウラソエ仮面の〜っ。あんな話や!こんな話!

「ヤクルトスワローズキャンプ&浦添市地域映画第2弾撮影中&これまでありがとうございました」の巻

皆さん、こんにちは、ウラソエ仮面です。2月は恒例の東京ヤクルトスワローズ春季キャンプで盛り上がりしました。今年も、浦添運動公園内に観光コンシェルジュブースを設置し、観光客の皆さまをお迎えしました。昨年7月に神宮球場で実施した浦添デーで配布したオリジナルデザインのうちわを持参してブースにいらっしゃった方が何人もいらして、私たちの観光客誘客への取り組みが少しずつ浸透していることを実感しました。さらに、陽迎橋商工業者会の方々が浦添市の地域映画の第二弾として、「たま子とヨーゲー橋のマジムン(仮称)」を撮影中です。3月22日(日)に、浦西中の体育館で上映会が開催される予定ですので、みんなで集まって会場を盛り上げましょう。



うらそえナビ

スマホを片手に浦添を散策。『おいしい』・『たのしい』よりみちアプリをお楽しみください!

うらそえナビ 検索

最後に、2013年4月号より、浦添の魅力を発信してきた「ウラソエ仮面の〜っ。あんな話や!こんな話!」ですが、今回をもって終了することになりました。これまで読んでいただいた皆さん、ありがとうございました。広報うらそえでの情報発信は終了しますが、浦添の観光情報は、引き続き「うらそえナビ」(<http://www.urasoenavi.jp/>)や「うらそえナビフェイスブック」で発信していきますので、皆さん、こちらでチェックしてくださいね。

それではまたどこかでお会いしましょう!



てだっ子 STUDIO

スタジオ



たましる かいじ
玉城 海嗣ちゃん(2歳)当山在



やまうち ちなみ
山内 千波ちゃん(1歳)大平在



まさし ゆうせい
真喜志 勇星ちゃん(1歳)屋富祖在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎876-1234(内線2613・2614)
E-mail: kokusai@city.urasoe.lg.jp